

【最近の商品テスト結果から】

国民生活センター 商品テスト部

角村 浩

スプレー缶製品の使用上の安全性 [2006年11月8日公表]

目的

塗料、殺虫剤など、スプレー缶製品（エアゾール製品）は日常生活のさまざまなところで使われている。一方で、国民生活センター危害情報システムには、2000年度以降「スプレー缶」に関する事故事例が211件寄せられ、事故は後を絶たない。そこで、スプレー缶の使用上の安全性について消費者へあらためて情報提供することとした。また、スプレー缶の適切な廃棄方法についても情報提供を行うこととした。

結果

スプレー缶による事故件数は211件。うち、137件でけがをしていた。

各種再現テストにおいて、人体に噴射して使用するコールドスプレー等は、使い方によっては凍傷の危険性が高くなることが分かった。また、スプレー噴射直後に火種が近づくと、内容物の可燃性や噴射量など様々な要因により引火することがあった。パーティー用のスプレーでは、内容物の種類などによって、噴射物に引火するものがあった。なお、スプレー缶の内容物の重量が大きいものは、高温環境下で破裂しやすいことが分かった

コールドスプレーの引火 パーティグッズで紐状の噴射物に沿って火が上ってくるところ



消費者へのアドバイス

●使用・保管時の注意

人体に噴射して使用するスプレーは、商品の表示どおりの使用方法で使用する

スプレー噴射直後には火気を近づけない

自動車内や直射日光の当たる場所、加熱源の近くには放置しない

●廃棄時の注意

噴射剤も含め中身を使い切り、各自治体の廃棄方法を守る

業界への要望

凍傷の危険性を考慮した商品設計を望む

引火が起こりにくい安全な成分を使用し、破裂や爆発がより起こりにくい商品設計を望む

ガス抜きが容易にできるよう望む

情報が伝わりやすいような表示を望む

行政への要望

廃棄方法の周知徹底とともに、使用者の事故防止の観点から、より安全な方法で全国的な統一がなされる方向で検討を望む

ガス抜きが容易にできる構造の導入を指導するよう望む

適正な表示の指導を望む

自転車用空気入れの安全性 [2006年10月6日:公表]

目的

国民生活センター危害情報システムには、自転車用空気入れを使用中に部品が折れたり外れたりしてけがをしたという事例が寄せられている。これらは握りを押し下ろすなど動きが早い操作中に起きていることが多く、骨折など重傷となるケースが目立つ。また、空気入れのタイプとしては、最も普及しているフートポンプタイプ（握りを垂直に押し下ろすタイプ）での事故事例が多い。そこで、フートポンプタイプの空気入れについて、強度を中心とした安全性のテストを行い、消費者へ情報提供することとした。

結果

消費者アンケートの結果、使用頻度は月に1回程度又は2～3か月に1回程度で、使用前点検はほとんど行われていなかった。

事故事例を参考にした事故状況の再現では、けがを負う危険性が確認された。

22銘柄の空気入れを15台ずつ（合計330台）購入したところ、13銘柄（69台）に何らかの初期不具合があり、修繕せずに使用を続けると危険な不具合が12銘柄（56台）に見られ、音が聞こえる空気漏れが8銘柄（16台）で確認された。

ピストンロッドが空き缶に衝突する様子



シリンダ本体の先端が足に接触した様子



JIS 規格に規定されていない台座～ピストンロッドの間の結合強度は比較的弱いものがあった。
各銘柄 4 台ずつの継続使用の最中に 20 銘柄（88 台中 54 台）に何らかの不具合が発生し、このうち容易に修繕できない不具合が 8 銘柄（15 台）、修繕できる不具合のうちキャップの緩みが 15 銘柄（31 台）、握りの緩みが 10 銘柄（15 台）に見られた。
本体に製造者や販売者等の住所又は電話番号が記載されていたのは 8 銘柄だけであった。

消費者へのアドバイス

初期不具合が多かったことから、購入後はすぐに各部に緩みや亀裂等がないかを確認するとともに、正常に空気が入るか確認する。
継続使用テスト中にキャップなどの緩みが見られたものがあったので、事故防止のため使用前には毎回必ず握り、キャップ、シリンダ本体など各部に緩みなどの異状がないか確認する。
握りを押し下げるための力が極端に大きい場合は、蓄圧タンクが外れて飛び出す危険を回避するため、無理に空気を入れない。
保管場所は取扱方法の表示に従い、雨ざらしや直射日光が当たる場所を避けること。

業界への要望

22 銘柄中 13 銘柄（330 台中 69 台）に何らかの初期不良が見られたので品質管理の徹底を望む。
台座～ピストンロッドの間の結合について強度の確保を望む。
使用中にキャップが緩むことのないよう改善を望む。
蓄圧タンクが外れて飛び出すことがないような構造を望む。
空気入れ本体に使用前点検や保管場所、連絡先を表示するよう望む。

行政への要望

事故防止のため品質管理の徹底や品質改善などについて関係業界への指導を望む。
今回のテスト結果や現状の商品を踏まえて、JIS 規格の改正を望む。

車載ジャッキを使用する際の安全性 [2006 年 8 月 4 日公表]

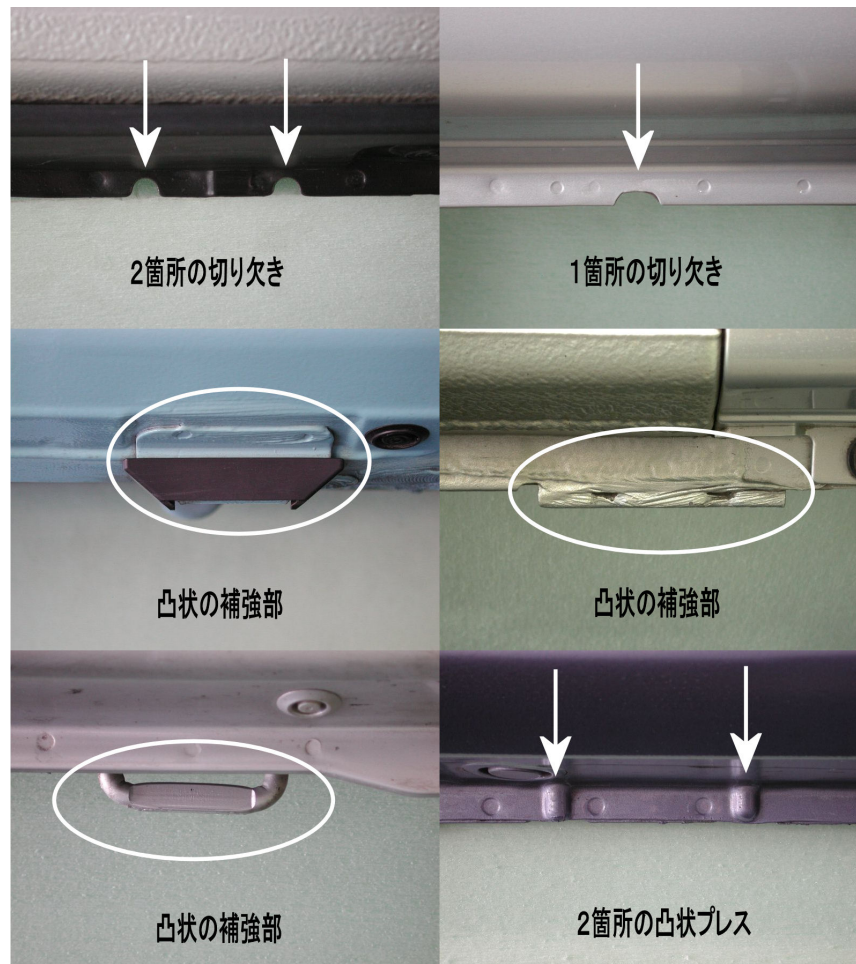
目的

車載ジャッキ使用中の事故は、その性質上、人の生命・身体等に重大な影響を及ぼすおそれがある。
そこで、様々な車種について車載ジャッキの強度や車体の特徴、想定される様々な使用方法での危険性や使用性をテストし、車載ジャッキの正しい使用方法や使用上の注意点を消費者へ情報提供するとともに、車体又は車載ジャッキに改善すべき点がないか検証することとした。

結果

ジャッキアップポイントの形状には複数の種類があり、サイドスカートの影響で目視しにくい銘柄などもあった。
ジャッキアップ中にジャッキが転倒した場合等は重篤な事故につながると思われた。また、乗員・荷物を乗せたままジャッキアップした場合やジャッキが最伸長になるまでジャッキアップした場合、ジ

ジャッキにかかる荷重が最大使用荷重を上回る場合があった
ジャッキアップポイントを正しく認識していないモニターが多かった
不適切な場所でジャッキアップした場合、車体が落下するなどの危険性があった
いずれの銘柄も強度に問題はなかったが、手が触れる部分の仕上げが良好でないものがあった



消費者へのアドバイス

ジャッキは指定されたジャッキアップポイントに正しくかける
ジャッキアップ作業は事前に練習しておくことが望ましい
輪止めは事前に購入しておくことが望ましい
不適切な使用や不向きな場所での使用をしないよう注意
ジャッキアップ中は車の下に絶対にもぐらない

業界への要望

消費者がジャッキアップ作業をより正しく行えるための方策を講ずるよう要望する
輪止めの重要性について消費者が認識できる方策を講ずるよう要望する
手の触れる部分の仕上げが良好でないものや車両重量に対し最大使用荷重に余裕がないものがあったので対策を要望する

【参考：商品テスト結果 公表一覧】

中食のフライ - 脂質の量と質を中心に利用する上での注意点を探る - (2007 年 2 月 7 日)

高麗人参を主原料とした「健康食品」 (2007 年 1 月 10 日)

スプレー缶製品の使用上の安全性 (2006 年 11 月 8 日)

自転車用空気入れの安全性 (2006 年 10 月 6 日)

シュレッダーの安全性にかかわる情報 - 指切断などの事故を防ぐために - (2006 年 9 月 15 日)

ヘナ配合の白髪染めをうたった商品 - 染毛効果を中心に - (2006 年 9 月 6 日)

車載ジャッキを使用する際の安全性 (2006 年 8 月 4 日)

乳幼児用チェアの安全性 (2006 年 7 月 6 日)

大豆イソフラボンを多く含むとうたった「健康食品」 (2006 年 6 月 22 日)

I H クッキングヒーターの安全性と加熱性能 - 温度センサーの精度向上や全ての金属鍋が使えると謳ったものを中心に - (2006 年 5 月 10 日)

サイクロン方式の掃除機 (2006 年 4 月 6 日)

おしゃれ用カラーコンタクトレンズの安全性 - 視力補正を目的としないものを対象に - (2006 年 2 月 3 日)

水洗トイレ用芳香洗浄剤が排水口をふさぐ事故に注意 - トイレタンクの手洗い部に置いて使用する芳香洗浄剤について - (2006 年 2 月 3 日)

自動車のドアに挟む事故 - ドアに関する事故の分析とスライドドアのテスト (2006 年 1 月 10 日)

乳幼児用玩具の安全性 (2005 年 12 月 7 日)

ペットボトル加湿器の安全性 (2005 年 11 月 7 日)

卓上型食器洗い乾燥機 - 様々な洗浄機構のものを中心に - (2005 年 10 月 6 日)

酢酸鉛配合の白髪染めクリーム等の安全性 (2005 年 10 月 6 日)

ダイエットなどをうたった「健康食品」 - センナ茎を使った茶類を中心に - (2005 年 9 月 7 日)

自転車用ランプの性能 - 自転車の夜間走行時の事故を防ぐために - (2005 年 9 月 7 日)

キダチアロエを使った「健康食品」 - 下剤成分を中心に - (2005 年 8 月 5 日)

虫よけ剤 - 子供への使用について - (2005 年 6 月 3 日)

電動アシスト自転車 (2005 年 4 月 6 日)

防犯ガラス、防犯フィルム of 性能 (2005 年 2 月 4 日)

暖房器具の安全な使い方 - その 1 電気カーペット - 実使用上の安全性 - (2004 年 11 月 5 日)

暖房器具の安全な使い方 - (2) ハロゲンヒーター - パラボラ型の安全性を中心に - (2004 年 11 月 5 日)

家庭内火災を防ぐ - その 1 揚げ物調理における食用油の発火 (2004 年 10 月 6 日)

家庭内火災を防ぐ - その 2 エアゾール式簡易消火具のテスト (2004 年 10 月 6 日)

目元ぱっちり、美しくなるはずが・・・「まつ毛パーマ」による目の炎症や、かぶれ等の事故が増加！ (2004 年 9 月 3 日)